

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2021年6月1日

日蓮正宗 年間方針

## 宗祖日蓮大聖人 御聖誕800年の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

### 人材育成と折伏実践

### 年間実践テーマ

① 日々勤行・唱題の実践

### 功德の源泉

### 一家和樂の信心

② 折伏実践こそ最善の報恩行

### 御命題達成

### 誓願成就

③ 寺院参詣と登山で人材育成

### 無始の罪障消滅

### 一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

### 相談無料



2021年5月6日の御報恩御講の様子



## 慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

### ① 講中のみなさまへ

世間の格言に「成功の秘訣は、成功するまで諦めないことである」とある。心を決めて目的に向かい進んだものならば、仮に自分の理想から遠い一つの結果も成功のための途上であり、成功の要因であることに間違いない。私たちは大聖人がお説きになる「一生成仏」を堅く信じ、諦めない仏道修行に精をなしているか。そもそも人として生まれたことを感謝できているか。大聖人曰く「人身は受けがたし、爪の上の土。人身は持ちがたし、草の上の露」(御書1173頁)と。仏法では、一つの生命体が長遠にわたり五戒を持ち続け生命存在としての最高価値を身に具えたものが、初めて人としての形成を許されると説く。しかし凡夫は他人のために舌を出すのさえ惜しむ。自らの有り難き命の尊貴を知り、菩薩道たる諦めない妙法広布の道に精進しようではないか。

### ② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その10)

創価学会の「教義逸脱問題」は、当時の池田氏や学会首脳の指導に見ることが出来る。例えば「人間革命」を「現代の御書」と称し、「大聖人の仏法」に対して「創価仏法」という新語を用いる。仏法の原点を戸田会長の獄中の悟達にあるとし、池田氏には主師親の三徳が備わる。池田氏は久遠の師であり、本門弘通の大導師である、という表現が用いられた。そして大聖人以来の血脈相伝による絶対の師匠である歴代の御法主上人を蔑如し、創価学会は大聖人直結、御書直結とした。ついには学会独自で経本を作成し、観念文の中に歴代会長の名前を加え、そこに御歴代上人のみに用いる「御報恩謝徳」の語もって観念とした。さらには池田氏による「血脈の本弟子(または新弟子)たるを証す」という傲慢な証書が学会幹部に授与された。(次号に続く)

### ③ 正しい仏教への信仰を知らない方へ(往生の意味について)

「往生」とは本来、死後に他の世界へ行き生まれ変わることである。往生という言葉が広まったのは、平安の末期、我が国に末法思想と念仏の教えがおきたことによる。当時の民衆は政治の破綻と相次ぐ天変により生きる希望を失っていた。そこに、ただ阿弥陀の称名を唱えるだけで幸せな世に生まれ変わる、との念仏が瞬く間に広まった。しかしこの浄土思想は仏の方便であり真実の教理ではないことを知る必要がある。往生の思想を持った人々は世を厭うだけの「無気力者」となった。そこにある願望は、ただこの世の苦しみを逃れて往生したいのである。念仏は一生を生き抜く心を奪う。このように「往生」という言葉は厭世思想と符合して、あきらめる、身動き不能、困り果てる、といった意味合いで使われるようになったのである。私たちは立ち往生しない人生を選ぶべきではないか。日蓮正宗 法遍寺をお訪ねください。